

お だ た か ひ さ
小田貴久

神奈川県議会・令和7年第3回定例会において一般質問を行いました。
かながわ未来会派の一員として質疑を行いましたので、報告いたします。

令 和7年8月に県は、相模原市・JAXAとの3者間において、宇宙関連産業の振興に向けた協定を締結した。

宇宙関連産業は今後の成長が期待されている分野の1つであるが、幅広い業種において人材獲得競争の激化が指摘されている中で、宇宙関連産業においても市場規模拡大に伴って人材不足が生じるのではないかと懸念している。

今後、宇宙関連産業に関わる人材の確保・育成を一層進めていくためには、子どもたちだけでなく、今まさに進路選択を考えている学生や社会人などにも宇宙関連産業に目を向けてもらい、実際の就職・転職の選択肢の一つとしていくことが必要である。

県は令和7年度に、宇宙関連企業交流拠点を相模原市域に設置・運営していく予定である。交流拠点は、基本的には企業同士の連携やマッチング等を主眼としているが、県民向けのPRや、人材の確保・育成にもうまく活用していくべきだと考える。

そこで、宇宙関連産業の振興に向けて、必要な人材の確保・育成にどのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

【知事答弁】

人材不足は様々な業種において課題となっており、今後の成長が見込まれる宇宙関連産業も例外ではない。宇宙関連産業を巡っては、「企業が、求める人材像やスキルを適切に伝えられていない」といった具体的な課題が明らかになっている。

こうした中で国は、民間主体の協力も得ながら、宇宙業界で求められるスキルを体系的に整理した「宇宙スキル標準」を作成したところである。

産業労働局提供



県としても、この「宇宙スキル標準」について、民間主体とも適切に連携して、効果的に周知を進め、宇宙業界のイメージ明確化を図ることで、他業種・他業界からの流入を含めた人材確保につなげていく。

同時に、相模原市域に設置する予定の「宇宙関連企業交流拠点」において、大学生などの将来の宇宙人材に対して、宇宙を身近に感じられる機会を提供することも検討していきたい。

引き続き、「神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議」における議論も踏まえながら、人材の確保・育成のための施策を含めて、宇宙関連産業の振興に取り組んでいく。

【要望】

橋本駅前に宇宙関連企業交流拠点を整備することによって、宇宙への興味関心をかきたて、若い世代に対しても宇宙につながる職業が身近なものとなり、それを県の産業として育てていく視点が重要である。

またその際には民間事業者やNPO団体、地元商店街など、多くの主体とも連携を図りながら、魅力ある取組とすることを求める。

宇宙関連産業の振興に向けた
人材の確保・育成について



小田貴久 政務活動事務所

〒252-0143 相模原市緑区橋本6-17-3 広木ビル1階-2

TEL 042-703-8858 FAX 042-703-8859

E-mail: sagamihara@oda-takahisa.net

小田貴久の県政活動をお届け



公式LINE



公式HP